

第69回奈良CBC練習会ハンド 2012-10-18

<p>No. 1</p> <p>♠ KQJ52 ♥ 654 ♦ — ♣ KJ953</p> <p>♠ 87 ♥ AJ3 ♦ KJ86 ♣ 4</p> <p>♠ 1064 ♥ 87 ♦ A105 ♣ Q10862</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ A93 ♥ KQ1092 ♦ Q97 ♣ A7</p>	<p>No. 2</p> <p>♠ 7 ♥ 106542 ♦ 7 ♣ QJ10643</p> <p>♠ AJ964 ♥ 8 ♦ Q9853 ♣ A8</p> <p>♠ Q102 ♥ AQ973 ♦ AK2 ♣ K5</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ K853 ♥ KJ ♦ J1064 ♣ 974</p>	<p>No. 3</p> <p>♠ KJ65 ♥ 3 ♦ A32 ♣ 98763</p> <p>♠ Q103 ♥ 9854 ♦ 87 ♣ AKQ10</p> <p>♠ — ♥ AKQJ762 ♦ Q104 ♣ 542</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ A98742 ♥ 10 ♦ KJ965 ♣ J</p>	<p>No. 4</p> <p>♠ QJ6 ♥ QJ962 ♦ 108 ♣ 962</p> <p>♠ 8742 ♥ 4 ♦ J9753 ♣ AKQ</p> <p>♠ A1093 ♥ K5 ♦ 62 ♣ 108543</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ K5 ♥ A10873 ♦ AKQ4 ♣ J7</p>	<p>No. 5</p> <p>♠ J ♥ Q42 ♦ KJ742 ♣ QJ62</p> <p>♠ Q1097652 ♥ AK10 ♦ 53 ♣ 3</p> <p>♠ K83 ♥ 985 ♦ AQ6 ♣ A1098</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ A4 ♥ J763 ♦ 1098 ♣ K754</p>	<p>No. 6</p> <p>♠ 9 ♥ 9832 ♦ AK109 ♣ QJ62</p> <p>♠ AJ76432 ♥ J10 ♦ 3 ♣ A103</p> <p>♠ 105 ♥ Q54 ♦ Q7654 ♣ 987</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ KQ8 ♥ AK76 ♦ J82 ♣ K54</p>
<p>No. 7</p> <p>♠ 87653 ♥ A83 ♦ 64 ♣ A107</p> <p>♠ 1042 ♥ QJ9 ♦ AKQ73 ♣ QJ</p> <p>♠ AKQJ ♥ K7642 ♦ 52 ♣ 95</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ 9 ♥ 105 ♦ J1098 ♣ K86432</p>	<p>No. 8</p> <p>♠ KQJ64 ♥ KQ1094 ♦ — ♣ QJ5</p> <p>♠ 7 ♥ 8762 ♦ K10432 ♣ K108</p> <p>♠ A852 ♥ A5 ♦ J985 ♣ 963</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ 1093 ♥ J3 ♦ AQ76 ♣ A742</p>	<p>No. 9</p> <p>♠ Q95 ♥ Q108 ♦ Q96432 ♣ 7</p> <p>♠ KJ74 ♥ KJ72 ♦ A108 ♣ J6</p> <p>♠ A108632 ♥ A54 ♦ 5 ♣ AKQ</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ — ♥ 963 ♦ KJ7 ♣ 10985432</p>	<p>No. 10</p> <p>♠ Q86 ♥ AJ86 ♦ J976 ♣ Q8</p> <p>♠ 432 ♥ 4 ♦ 10532 ♣ AK954</p> <p>♠ AKJ7 ♥ Q109752 ♦ 4 ♣ 102</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ 1095 ♥ K3 ♦ AKQ8 ♣ J763</p>	<p>No. 11</p> <p>♠ 92 ♥ Q8642 ♦ K76 ♣ K84</p> <p>♠ K1083 ♥ K973 ♦ A82 ♣ Q2</p> <p>♠ A74 ♥ AJ10 ♦ QJ109 ♣ J105</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ QJ65 ♥ 5 ♦ 543 ♣ A9763</p>	<p>No. 12</p> <p>♠ QJ9 ♥ QJ8 ♦ K102 ♣ 9653</p> <p>♠ 872 ♥ 9652 ♦ A973 ♣ J10</p> <p>♠ 106 ♥ AK1074 ♦ QJ54 ♣ Q2</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ AK543 ♥ 3 ♦ 86 ♣ AK874</p>
<p>No. 13</p> <p>♠ AJ43 ♥ 98 ♦ AQ86 ♣ A32</p> <p>♠ 65 ♥ 542 ♦ 1052 ♣ J9875</p> <p>♠ 82 ♥ AQJ10763 ♦ 74 ♣ 64</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ KQ1087 ♥ K ♦ KJ93 ♣ KQ10</p>	<p>No. 14</p> <p>♠ KJ8654 ♥ K43 ♦ 5 ♣ A74</p> <p>♠ Q1072 ♥ 97 ♦ AQJ7 ♣ KJ6</p> <p>♠ — ♥ QJ102 ♦ 964 ♣ 1096532</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ A93 ♥ A865 ♦ K10832 ♣ Q</p>	<p>No. 15</p> <p>♠ 54 ♥ J74 ♦ J10952 ♣ KQ4</p> <p>♠ A762 ♥ KQ962 ♦ 7 ♣ J96</p> <p>♠ KQJ108 ♥ 10 ♦ K843 ♣ A32</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ 93 ♥ A853 ♦ AQ6 ♣ 10875</p>	<p>No. 16</p> <p>♠ AJ3 ♥ 974 ♦ Q1076 ♣ K52</p> <p>♠ 85 ♥ KQJ ♦ AK42 ♣ A973</p> <p>♠ K9642 ♥ A86 ♦ 853 ♣ J10</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ Q107 ♥ 10532 ♦ J9 ♣ Q864</p>	<p>No. 17</p> <p>♠ Q5 ♥ AQJ9 ♦ KQ4 ♣ A1086</p> <p>♠ AJ10874 ♥ 753 ♦ 6 ♣ K95</p> <p>♠ 632 ♥ 82 ♦ AJ98 ♣ Q743</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ K9 ♥ K1084 ♦ 107532 ♣ J2</p>	<p>No. 18</p> <p>♠ Q2 ♥ 7653 ♦ K4 ♣ AK874</p> <p>♠ AKJ105 ♥ — ♦ 10862 ♣ 10963</p> <p>♠ 98763 ♥ J984 ♦ QJ ♣ 52</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ 4 ♥ AKQ102 ♦ A9753 ♣ QJ</p>
<p>No. 19</p> <p>♠ 876 ♥ K986 ♦ A74 ♣ 942</p> <p>♠ 93 ♥ AQ1074 ♦ 865 ♣ KQ5</p> <p>♠ AJ10 ♥ J52 ♦ KJ2 ♣ A873</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ KQ542 ♥ 3 ♦ Q1093 ♣ J106</p>	<p>No. 20</p> <p>♠ K75 ♥ K7 ♦ A4 ♣ AKJ986</p> <p>♠ AQJ ♥ AQ92 ♦ J953 ♣ 107</p> <p>♠ 62 ♥ J10865 ♦ 106 ♣ Q543</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ 109843 ♥ 43 ♦ KQ872 ♣ 2</p>	<p>No. 21</p> <p>♠ AJ652 ♥ K3 ♦ A64 ♣ 1054</p> <p>♠ 4 ♥ Q10 ♦ KQ98 ♣ AJ9832</p> <p>♠ Q8 ♥ A962 ♦ J10752 ♣ Q6</p> <p>W X E N S</p> <p>♠ K10973 ♥ J8754 ♦ 3 ♣ K7</p>			

☆ ビッド・プレーに関するコメント (色々と独断や間違いがあると思いますので参考程度に留めて下さい)

No. 1

♠ KQJ52			
♥ 654			
♦ —			
♣ KJ953			
♠ 87	♠ 1064		
♥ AJ3	♥ 87		
♦ KJ86	♦ A105		
♣ 4	♣ Q10862		
	♠ A93		
	♥ KQ1092		
	♦ Q97		
	♣ A7		

N	
W	X
E	
S	

N	E	S	W
P	P	1♥	2♦
3♦	P	4♥	end

N	E	S	W
1♠	P	2♥	P
3♥	P	3♠	P
4♠			end

DealerのNのハンドでパスするか1♠でOPするか、意見が分れるかも知れない。5-5-3-0のハンドで10hcpしかないが、5枚スーツに絵札が集中し、♠5枚あるので1♠でOPするのも悪くない(左下)。Nがパスした時は、Sが1♥でOPしてWが2♦のOCを掛けた時は、Nは3♦のCueビッド(♥3枚サポートとInvitation以上の強さ)し、Sが4♥をビッドする。尚、Wが3♦のジャンプOCを掛けた時はNで3♠をビッドすることになりそう(ダブルもあるが紛らわしい)、Sが4♠にレイズする。Nが1♠でOPした時はSが2♥でレスポンスし左下の様に4♠/Nに納まる。

4♥/S OL: ♣4 Declarerはハンドの♣Aで勝つ。♥を集めれば♥で2個負けたとしてもウイナーは10個ある(♥3♠5♣2)。しかし、**ダミーに♥がない形で負けるとハンドの♦の処理が問題になる。**第2トリックでは♦7を出し、ダミーの♥でラフ、♠Aでハンドに戻り、再度♦をラフした後、♥を集めれば4メイクする。第2トリックで♥Kを出すプレーは、Wが♥Aをダックするので、♥を続けずに、♦をダミーで2回ラフするプレーに切り替える必要がある。

4♠/N OL: ♥8→♥K→♥A→♥4 Wからの♦のリターンをDeclarerはハンドでラフ。♠が3-2の分かれなら、♥Jに負けても4メイクは固い(ルーザー♥2♣1)。♠4-1の時は♥Jが捕まらないと4メイクは難しい。

No. 2

♠ 7			
♥ 106542			
♦ 7			
♣ QJ10643			
♠ AJ964	♠ Q102		
♥ 8	♥ AQ973		
♦ Q9853	♦ AK2		
♣ A8	♣ K5		
	♠ K853		
	♥ KJ		
	♦ J1064		
	♣ 974		

N		
W		E
S		

N	E	S	W
	1♥	P	1♠
P	2NT	P	3NT
end			

N	E	S	W
	1♥	P	1♠
P	2NT	P	3♦
P	3♠	P	4♠
end			

Eの2NTのリビッドの後、ペアによりビッドに差が出る。主にWの判断による。① アンバランスハンドで不満ながら3NTで収める(左上)。② 3♦をビッドして、Eの3♠のビッドに a) 4♠にレイズする(左下) b) スラムの可能性を意識して4♣をビッドし、Eの4♦でスラムトライして6♠に到達(右)。③ 3♣(Checkback Stayman)をビッドして、スラムトライする。

6♠/W OL: ♣Q Declarerはダミーの♣Kで勝つ。♠Kが捕まれば、♦で1ルーザー出ても(♦4-1の時)6メイクは固い(♠5♥1♦4♣2)。♠Kが捕まらない時は、♦3-2の分れに賭けるとしてプレーを組み立てる。このハンドは♠が4-1の分れながら♠Kのフィネスが成功して♠でルーザーが出ないので6メイクは固い。17テーブルのペア戦でのコントラクトは 6♠/W 3T(何故か2Tでダウン)、4♠/W 6T、3NT/E 7T 6♦/W 1Tであった。スラムに到達し難いボードである。

N	E	S	W
	1♥	P	1♠
P	2NT	P	3♦(3♣)
P	3♠	P	4♣
P	4♦	P	4NT
P	5♠	P	6♠
end			

No. 3

♠ KJ65			
♥ 3			
♦ A32			
♣ 98763			
♠ Q103	♠ —		
♥ 9854	♥ AKQJ762		
♦ 87	♦ Q104		
♣ AKQ10	♣ 542		
	♠ A98742		
	♥ 10		
	♦ KJ965		
	♣ J		

N		
W	—	E
S		

N	E	S	W
		P	P
P	1♥	1♠	3♥
3♠	4♥	end	
	(4♠ 5♥		
	5♠···?)		

DealerのSは♠6枚の8hcpのハンドながら、5枚の♦があるので、2♠(weak)ではオープンしないのが普通。Eが1♥でOPし、Sが1♠のOCをした場合、♠と♥の競り合いとなり、4♥までは上がる。これに対してNon VulのSは4♠をビッドすると、W(E)で5♥をビッドする可能性が高い。SがWeak2♠でOPした場合でも、♥と♠の競り合いになる(右)。

5♥/E OL: ♠A Declarerはハンドでラフ。♦が2ルーザーになるが5メイクは固い。

4-5♠/S OL: ♣K 次に♥4を出す。♥Qで勝ったEは♠を返すが、Declarerはラフする。5メイクにはあと全部勝つ必要がある。♠が2-1ならルーザーはなく、♦QがEにあるとしてプレーを組み立てる。ただ、可能性は少ないが♠3-0の場合、Eに♠Q103があると必ず1ルーザー出る。3-0に備える場合は、Wに3枚ある場合を想定して、先に♠Aを勝つことが肝要である。後は♦Qのフィネスを狙えば5メイクになる。5♥が固いので5♠がダウンしても良いと考えればそれでも良いが、どん欲にプレーする価値があるハンドである。SがWeak2♠でOPした時は多分5♠はビッド出来ないかもしれない。但し、Nから推定すれば、♠6♦1個は確実で、♥ラフ1回とすれば8個勝てる(3ダウン)計算になるが····。実際の11テーブルのペア戦でのコントラクトは 5♥/E 6T、4♠X/N 3T、5♠X/N 1T。

No. 4

♠ 8742	♠ A1093
♥ 4	♥ K5
♦ J9753	♦ 62
♣ AKQ	♣ 108543

	N	
W	+	E
	S	

♠ K5	♠ 10873
♥ A10873	♥ AKQ4
♦ AKQ4	♦ J7
♣ J7	

N	E	S	W	最初パスしたWがSの1♥のOPに対して、パスする(左)かダブル(右)を賭けるかは微妙な判断。このハンドでは何れにしても4♥/Sに決まりそうである。
P	P	1♥	P	4♥/S OL: ♣K 続いて♣A♣Qを続ける。Declarerは♣3巡目をラフする。♠AIには負けるので、4メイクには♥Kを捕まえる必要がある。W(♣に9hcp)が最初パスしているので、♠AはEにある可能性が高く、♥Kはドチラにあるかは不明だが、Wにある場合は♥Kがシングルトンである場合しか捕まらない。Wの♥Kがシングルトンの確率は約13%。♥KがEにある確率は50%。従って♥Kのフィネスをするのが得策であるが、ダミーへの確実なエントリーがない! ♠Kを出して♠Aを追い出しにかかるが、当然Eは♠Aをダックする(Eが♠Aを勝つとダミーへのエントリーが出来る)。どうすべきか? ♠Kが勝つと、♦A♦Kを勝ってから♠5を出して♠AIに負に行く。ここでEが何を出して来てもNIに入るので、♥Kのフィネスが可能となり、4メイク出来る。♦の3巡目をダミーでラフしてダミーに入るのは、オーバーラフされる危険性があるので、出来るだけ安全にエントリーを作る工夫をする。
2♥	P	3♥	P	
4♥	end			

N	E	S	W
P	P	1♥	X
2♥	2♠	3♥	P
4♥	end		

No. 5

♠ J	♠ K83
♥ Q42	♥ 985
♦ KJ742	♦ AQ6
♣ QJ62	♣ A1098

	N	
W		E
	S	

♠ Q1097652	♠ A4
♥ AK10	♥ J763
♦ 53	♦ 1098
♣ 3	♣ K754

N	E	S	W
P	1♣	P	1♠
P	1NT	P	3♠(4♠)
P	4♠	end	

Eの1♣のOPに対して、7枚♠と9hcpのWは一気に4♠もあり得るが、Eのハンドによってはスラムを逃す可能性があるため1♠でレスポンスする。Eの1NTリビッドに対しては、3♠と4♠があり得る。Wの1♠レスポンスに、Nが2♦のOCを掛けてきた時にはEはサポートダブル(♠3保証)を掛けるか、2NT(右)をビッドするかであるが、前者を薦める。いずれにしても4♠に決まる。
4♠/W OL: ♣Q Declarerはダミーの♣Aで勝つ、♠Aに負ければ♦KがNIに在れば5メイクでSに在れば4メイクになる。

N	E	S	W
P	1♣	P	1♠
2♦	2NT	P	4♠
end			

N	E	S	W
P	1♣	P	1♠
2♦	X	P	4♠
end			

No. 6

♠ 9	♠ 105
♥ 9832	♥ Q54
♦ AK109	♦ Q7654
♣ QJ62	♣ 987

	N	
W	—	E
	S	

♠ AJ76432	♠ KQ8
♥ J10	♥ AK76
♦ 3	♦ J82
♣ A103	♣ K54

N	E	S	W
P	1NT	P	
2♣	P	2♥	P
4♥	end		

Sの1NTにWがパスした場合は、Stayman 2♣経由で、4♥/Sになる。Wが2♣のHamilton OC(1スーツが長いことを示す)を掛けてきた時は、Nはダブルを掛け2♣のStaymanをビッドするハンドであることを示す。Sの2♥をNは4♥にレイズする。また、Wが2♠のOC(♠が長いスーツのOC)をしてきた時は、Nはテイクアウトダブルをかけ、SがMinorを3の代でビッドしてきた時はパスor4の代にレイズ、3♥が返った時は4♥にレイズする予定。1NTにOCが入った時どうビッドするかはパートナーと対応を決めておく必要があります(色々あり)。4♥/S OL: ♦3 Declarerはダミーの♦Aで勝つ。♥はQJ10を含む5枚が抜けているので、3-2の分れでも1ルーザーになり♠A♠AIに負けるので、4メイクには他で負けられない。♥A♥Kを勝ち、♥Qを残したままプレーを進めることにする。ウィナーは♠1♦2♣2と♥4個(♠ラフを含めて)しかなくかなり厳しい状況である。♦のルーザーが処理出来るのは ① ♦QがWにある(OLからは考え難い)か、② ♣が3-3の別れの場合のみである。そこで、♠A♠AIに負けてから、♣3-3の分れを狙い、これがダメなら、♦Qのフィネスをする計画でプレーする。このハンドは♣が3-3の分れで4枚目が勝るので4メイクする。3NT/S OLが♠6で正確なDefenseではメイクは難しい。OL♠Aの場合は3メイクになる。

N	E	S	W
P	1NT	2♣	
X	P	2♥	2♠
4♥	end		

N	E	S	W
P	1NT	2♠	
X	P	3♥	P
4♥	end		

No. 7

♠ 87653
♥ A83
♦ 64
♣ A107

♠ 1042
♥ QJ9
♦ AKQ73
♣ QJ

N	+	E
W		
	S	

♠ AKQJ
♥ K7642
♦ 52
♣ 95

♠ 9
♥ 105
♦ J1098
♣ K86432

N E S W
P 2♣ P 1NT
P 2♠ P 2♦
P 2♠ P 3♥
P 4♥ end

Wが1NTでOPした時はStayman2♣にWの2♦に、Eが2♠(Smolen Conv. ♥5枚、♠4枚を示す)をビッドし、Wの3♥(♥3枚保証)に4♥にレイズする(左上)。Wが♣QJを嫌って1♦でOPした時はWの1NTリビッドにEは2♠のリバースビッド(或いは2♣のCheckbackStayman)をして、4♥/Eになる(左下)。

N E S W
P 1♥ P 1NT
P 2♠(2♣) P 3♥
P 4♥ end

4♥/W OL: ♦6 Declarerは♦Aで勝ち、♥を集めに行けば♥Aに負けた時に、♣AKを負けても4メイクは固い。Defenseが♣を勝たないと5~6メイクになる。OL: ♣A ♣10を続け、♣Kで勝ったSが♠9を返すと、Declarerが♥を集めに来た時に、Nが直ぐ♥Aで勝ち♠を出せばSでラフして1ダウンになる。

4♥/E OL: ♠9 上記と同様に♠をSでラフし、♣2個勝つと1ダウンになる。3NT/W Defense側のプレーが難しく、NがOL、或いは♥Aで勝った時、感良く♣Aで勝ち、Declarerから♣Q or ♣Jが出るのを見て、ブロックを避けるため♣10を出せば3ダウンの可能性があるが、Nでブロックすると3メイクになる。尚、Defenseが♣を攻めないで5~6メイクになる。

No. 8

♠ KQJ64
♥ KQ1094
♦ —
♣ QJ5

♠ 7
♥ 8762
♦ K10432
♣ K108

N		E
W	X	
	S	

♠ A852
♥ A5
♦ J985
♣ 963

♠ 1093
♥ J3
♦ AQ76
♣ A742

N E S W
P 1NT P
1♠ P 1NT P
2♥ P 3♠ P
4♠ end
(1NT-Forcing)

1NT-Forcing の時はSは1NTでレスポンスし、リビッドで3♠にジャンプして3枚サポートでのInvitationであることを示す。スタンダードの場合2♦でレスポンスしてリビッドで3♠のInvitationをする。但し、ペアー戦の場合、Nの2♥にSが2NTをリビッドすることも考えられるが(右)、このハンドは結局4♠/Nになる。

N E S W
P 1♠ P 2♦ P
2♥ P 3♠ P
4♠ end

4♠/N OL: ♣9(♣6)→♣3→♣K→♣Q Wから何が返っても、♠A♥Aを追い出せば4メイクは固い。OL: ♦5→♦Q→♦K→♠4(ラフ)とすると、♠が3-2の場合4メイク可能だが、4-1の場合問題が生じる。即ち、♠Aに負けた時に♦を攻撃された時ハンドでラフすると、切り札がパンピングされて、♥Aに負けた時に♦を攻撃されダウン必至になる。OLに♦Aを出しても同様に1ダウン必至である。

しかし、最初♦5→♦6→♦K→♣5 とWの♦Kの時にハンドから♣5を捨てる!(ルーザー-onルーザー)と4メイク可能となる。即ち、このあと何が出されても、♠Aを追い出し♠を刈りあげてから、♥Aに負けると4メイク出来る。(♦にストッパーが残っているため、♦を攻撃されても切り札のパンピングが避けられる)。最初のトリックで♠4-1(約31%)への対応を考えることが重要である(後では対処出来ない)。

No. 9

♠ Q95
♥ Q108
♦ Q96432
♣ 7

♠ KJ74
♥ KJ72
♦ A108
♣ J6

N		E
W		
	S	

♠ A108632
♥ A54
♦ 5
♣ AKQ

♠ —
♥ 963
♦ KJ7
♣ 10985432

N E S W
P 1♠ P 2♥
P 3♠ P 4♦
(4♠ end)
P 4♥ P 4NT
P 5♦ P 6♠
end

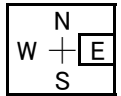
Eの1♠のOPに対して、♠4枚と13hcpのWは4♠は勿論、Eのハンドによってはスラムも意識してビッドすべき。一気に4♠をビッドするのはスラムの可能性少ない♠5枚以上で8~10hcp位のハンドである。そこで2♥(普通♥は5枚を期待される)でレスポンスしEのリビッドを待つ。Eが3♠をリビッドするので、Wは単に4♠にレイズするかスラムを狙うかの選択をする。Wが4♦をビッドしてEから4♥が返ってもEはプリファランスをしただけで♥Aがあるとは限らないので、直ぐ4NTをビッドして良い。一方、最近この手のレスポンスでWが3NTをビッドするConvention(♠4枚と13~15hcp示す)が使用されている(左下)。この場合はEからスラムトライすることになる。

N E S W
P 1♠ P 3NT
P 4♣ P 4♦
P 4NT P 5♥
P 6♠ end

6♠/E OL: ♣10 Declarerはハンドの♣Aで勝つ。♠が2-1の分かれなら問題なく♠6個が勝るので、♥2♦1♣3で6メイクは固い。♠が3-0の時(確率約25%)は♠の集め方で♠Qが捕まえない(♠を最初に勝つ方の右手が3枚の時)。この場合は♥QがSにあることに賭けることになる。6♠がダウンする確率は約25%×0.5×0.5=6%で大抵6メイクすると考えられるが、実際はメイクかダウンかで大差となる。ほぼ100%メイク出来る手段がある。NIに♣Qが残った場合、EWのハンドから♦♣を無くしてから、End-PlayでNの♠Qにスローインすることである。そのために最初に♣AをかちSがショウアウトした時は、♦Aでダミーに入り、♦ラフ、♠Kでダミーに入り再度ハンドでラフ、♣KQを勝つここでNがラフしても、♥か♦しか出せないため、6メイクは固い。また、ラフしない時は♣のあとで、♠で負に行く。

No. 10

♠ Q86	♠ AKJ7
♥ AJ86	♥ Q109752
♦ J976	♦ 4
♣ Q8	♣ 102
♠ 432	♠ 1095
♥ 4	♥ K3
♦ 10532	♦ AKQ8
♣ AK954	♣ J763

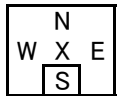


N	E	S	W
	P	1♦	P
1♥	P	1NT	end
N	E	S	W
	1♥	X	P
1NT	P	end	
N	E	S	W
	1♥	P	1NT
P	2♥	end	

DealerのEのハンドでOPするかパスするか？パスが普通であるが・・・1♥でOPする人があるかも知れない(♥が弱い6枚でサイドの♠にAKがあるのでWeak2♥ではOPしないのが普通:Wに♠Qの5枚と♥KX、MinorにA1枚があれば4♠を逃す可能性が高い)。EがパスするとSが1♦でOPLして、Nの1♥レスポンスにSで1NTをビッドする(左上)。Eが1♥でOPLした時は、Sはダブルを掛けるかパスするか？(♠に4枚ないので)。ダブルの時はNが1NTをビッドしそのまま決まる(左中)。Sがパスした時はWは1NTでレスポンスし、Eが2♥をリビッドして決まる。
 1NT/S OL: ♣K この後、Wが感良く4を出して♠を4個勝っても、♣Aが勝てるだけで、1メイクは固い。1NT/N OL: ♠K Eから♦以外何を出しても1メイクにはなる。♦を出せば損がなく1ダウンの可能性もある。
 2♥/E OL: ♦K 続く♦QをDeclarerはラフ、♣でダミ-に入り、♠を出して♠Qのフィネスをし、♠で3個勝てるので2メイクは出来そうである。
 Both Vulであるのでビッド・プレー共に気を使う。

No. 11

♠ 92	♠ A74
♥ Q8642	♥ AJ10
♦ K76	♦ QJ109
♣ K84	♣ J105
♠ K1083	♠ 674
♥ K973	♥ AJ10
♦ A82	♦ QJ109
♣ Q2	♣ J105
♠ QJ65	
♥ 5	
♦ 543	
♣ A9763	



N	E	S	W
		P	1♦
P	3NT	end	
N	E	S	W
		P	P
P	1♦	P	1♥
P	1NT	P	2NT
P	3NT(P)	end	
N	E	S	W
		P	P
P	1♦	P	2NT
P	3NT(P)		

Wが1♦でOPすると、13hcpのバランスハンドのEは直接3NTをビッドする。一方、Wがパスした時、Eは1♦でOPするが、これに対するWのレスポンスは難しい。最初パスしているので、1♥ or 1♠のレスポンスではパスされる恐れがある。しかし、2♥(2♠)でのレスポンスは普通5枚有ると解釈される。また、2NTのレスポンスは♠に不安がある等どれも問題があるがどれかを選択せざるを得ない。Wの2NTに対してEで3NTにレイズするかパスするか微妙である。13hcpであるが4-3-3-3のハンドはマイナス要因。J10のシーケンスが3個あるのはプラス要因、これらを判断して決める。
 31Tのペア-戦 3NT/E 19T: 3NT/W 10Tと殆どのペア-が3NTをビッドしていた。
 3NT/E OL: ♣6→♣Q→♣K→♣5 Nから♣8がリターンされDeclarerは♣10を出した、Eは何を出すか？ ♣Aをダックして♣10に勝たせるべきである。♣Aで勝って♣を出してDeclarerの♣Jに負けた場合、エスタブリッシュした♣を勝つ♣のエントリーが間に合う可能性は少ない。しかし、♣Aをダックしておけば、何かでNに入った場合(NIには6~7hcpあると推定)、Nから♣の3枚目をリターンすることが可能でダウンさせることが出来る。
 3NT/W OL: ♥4 Declarerはダミ-から♥Jを出すとこれが勝てるので、ダミ-から♦Qを出し、♦Kに負けるが、♥4♦3♠2確実となり3メイクする。OLでNから♣Kを出すようなDefenseは不可能。3NT/E は19T中、5Tで1ダウンであった。

No. 12

♠ QJ9	♠ 106
♥ QJ8	♥ AK1074
♦ K102	♦ QJ54
♣ 9653	♣ Q2
♠ 872	♠ AK543
♥ 9652	♥ 3
♦ A973	♦ 86
♣ J10	♣ AK874



N	E	S	W
			P
P	1♥	1♠	2♥
2♠	P	P	3♥
P	P	3♠	end
N	E	S	W
			P
P	1♥	1♠	2♥
2♠	P	3♠	P
4♠		end	

3rdハンドのEが1♥でOPLし、Sが1♠のOCをしてWが2♥、Nが2♠にレイズする。ここでSが2♠をパスするか、3♠にレイズするかであるが、3♠にレイズするのが良いと考える(14hcpであるが5-5で絵札がAKの4枚と集中しているので強いハンドで17~18hcp位に評価出来る)。Nは4♠にレイズするのが普通。しかし、Sが2♠をパスした後、競り合って3♠にレイズした時はNで4♠にはレイズ出来ない。
 4♠/S OL: ♥9→♥J→♥K→♥3 Eから何がリターンされても後♦Aに負けるだけで5メイクになる。E-WはNonVulながら余り競らないことも肝要。4♥/Eは♣2♠2♦1のルーザー-はどうすることも出来ず、♥でも1ルーザー-出る可能性がある(♥Qのフィネスが出来るか?)。

No. 13

♠ AJ43
♥ 98
♦ AQ86
♣ A32

♠ 65
♥ 542
♦ 1052
♣ J9875

	N	
W	+	E
	S	

♠ 82
♥ AQJ10763
♦ 74
♣ 64

♠ KQ1087
♥ K
♦ KJ93
♣ KQ10

N E S W
1NT P 2♥ P
2♠ P 3♦ P
4♠ P 4NT P
5♦ P 6♠ end

Nの1NTのOPに対して、17hcpあるSはスラムを意識してビッドをする必要がある。2♥のJacoby TR. 経由で3♦(2ndスーツ、絵札に余裕有り; ♠6枚の可能性もあり)をビッドする。NはMinimumで♠4枚あるので4♠をビッドしている。Sからスラムトライし、6♠に到達。15hcpでは1NTでOPしない場合はNは1♦でOPすることになる(右上、下)。
これにEが3♥のOCを掛けた場合、Sは3♠をビッドしNが4♠にレイズする。

ここで、Aのないハンドながら17hcpある(♥Kは絵札としては評価出来ないが)Sがパスするか、スラムトライするかは微妙な判断になるが、スラムは狙い難い。EがOCしなかった時はSの1♠レスポンスにNが3♠にジャンプレイズすれば、Sからスラムトライすることになる。
6♠/N(S) 共にルーザーは♥Aのみで6メイクは固い。スラムビッドが出来るかどうかである。

N E S W
1♦ 3♥ 3♠ P
4♠ P P (4NT P
5♦ P 6♠ end)
(1NT 16-18hcp)

N E S W
1♦ P 1♠ P
3♠ P 4NT P
5♦ P 6♠ end

No. 14

♠ KJ8654
♥ K43
♦ 5
♣ A74

♠ Q1072
♥ 97
♦ AQJ7
♣ KJ6

	N	
W	X	E
	S	

♠ —
♥ QJ102
♦ 964
♣ 1096532

♠ A93
♥ A865
♦ K10832
♣ Q

N E S W
P 1♦ P
1♠ P 1NT P
2♣ P 2♠ P
4♠ end

N E S W
P 1♦ P
1♠ P 1NT P
2♠(3♠) P 3♠(4♠) P
4♠ end

Sの1♦のOPに13hcpあって♦が強いWは適当なビッドがなく、パスせざるをえない。Nは1♠でレスポンスする。Sは良いリビッドがないが、取敢えず1NTをビッドする(2♦や2♥は良くない)。これに対するNのビッドはペアーにより異なる。Check back Staymanを使用していれば2♣をビッドし、Sの2♠の返事(♠3枚とMinimum)にNは4♠にレイズする(左上)。一方、Check back Staymanを使用しない場合は、Nは2♠(3♠)をビッドして最終的に4♠に到達したい。
4♠/N OL: ♥Q Declarerとして考えると♣で1ルーザー出る場合は♣を2回ダミーでラフする必要がある。OLはダミーの♥Aで勝ち、♣Qを引いてハンドの♣Aで勝ち、♣4を出してダミーでラフする。♥5を出してハンドの♥Kに入り、♣の3巡目をダミーでラフする。♠Aを出すと、Eがショウアウトする。ダミーから♦3を出すとWは♦Jで勝つ。Wが♦Aを出すとDeclarerはハンドでラフする。
残る5枚は下の様になり、ここで♠8を出してWにスローインするとWが♠10で勝つが何を出しても1個負けるだけで4メイクになる。なお、♦Jで勝ったWが♦Aを出さずに♠7を出して来た時には、♠8で勝ち、♠Kを勝って、♠を出してWに負けても4メイク。4♠/W 27T中 16Tメイク、11Tダウン
意図したわけではなくタマタマ メイクしたのもあるかも知れない。

N ♠KJ86
♥4 W ♠Q107
♦Q7 S ♥86
♦K108

No. 15

♠ 54
♥ J74
♦ J10952
♣ KQ4

♠ A762
♥ KQ962
♦ 7
♣ J96

	N	
W		E
	S	

♠ KQJ108
♥ 10
♦ K843
♣ A32

♠ 93
♥ A853
♦ AQ6
♣ 10875

N E S W
P P
P 1♠ P 2♣
P 2♦ P 4♠
end

N E S W
P P
P 1♠ P 3♠
P 4♠ end

3人パスの後、4thハンドのEが1♠でOPすると、最初パスしていて、4枚サポートとInvitationの強さがあるWのビッドはペアーによりDrury 2♣と3♠のジャンプレイズがある(Drury 2♣は3枚サポートで3♠のジャンプレイズは4枚サポートと決めているペアーもある)。Drury 2♣の後の2♦はLight OPでないことを示す。
4♠/E OL: ♠3 ♠は完璧だがウイナーは♠5♥1♠1しかなく、メイクには3個増やす必要がある。♦をダミーで2回ラフしても1個不足。かなり厳しい状況である。OLはハンドで勝ち、♥10を出しSは♥Aをダックして(♥Aを出すと簡単に4メイク)Wの♥Kが勝つ。♦7を引いてハンドから♦3を出して負ける。♠がリードされればハンドで勝ち、♦を出してダミーでラフ。ダミーから♥2を出してハンドでラフする。♦8出してダミーでラフすると幸運にも♦Aが出て♦Kが勝って4メイクになる。
OL: ♣5→♣6→♣Q→♣A ♣10はSにあると推定される(OLの時Nから♣10が出なかった)ので♣でもう1個勝てそうである。ダミーで♦を2回ラフする必要があるので、Declarerは第2トリックでは♥10を出すSが♥Aをダックしてダミーの♥Kが勝つ。♦7を引きハンドから♦2を出すとSが♦Qで勝つ。Sが♠3を出してくればハンドで勝ち、♦を出してダミーでラフ。♠でハンドに戻り、♦8を出してダミーでラフして4メイクは固い。♣10のフィネスで5メイクも可能。

No. 16

♠ AJ3
♥ 974
♦ Q1076
♣ K52

♠ 85
♥ KQJ
♦ AK42
♣ A973

	N	
W	—	E
	S	

♠ K9642
♥ A86
♦ 853
♣ J10

♠ Q107
♥ 10532
♦ J9
♣ Q864

N E S W
1NT
P 2♥ P 2♠
P 2NT P 3NT
end

Wの1NTのOPにJacoby TR. 経由で3NTになるのが普通。
3NT/W OL: ♦6 Declarerから考えて確実なウイナーは♥3♦2♣1の6個しかなく、メイクにはあと3個増やす必要がある。♣で2個勝つことは可能だが3メイクには届かない。可能性は高いとはいえないが♠で3個勝つことを考える。これには♠AがNにあり、♠が3-3の分れであることが必須条件となる(確率的には31.3 X 0.5 = 15.1%)。♠で2回負けるの必要があり、しかもダミーへのエントリーは♥Aのみであるので、細心の注意が必要である。OLの♦はダックせずに♦Kで勝つ(♠2回負けるので♦で2回負けても良いが、他には負けられない; ♦以外の♣を攻められることを避けたい)。♠5を出してダミーからも♠Lowを出し負ける。Sからの♦のリターンを♦Aで勝ち、♠8を出し、Nから♠Aが出なければダミーから♠Kを出し、これが勝てることに賭ける。このハンドでは♠Kが勝つので、♠3-3を狙い♠4を出して負ける。これが成功するので♥Aをエントリーに♠が2個勝って3メイクする。メイクが厳しい中でもメイクのチャンスがあるプレーを考えて組み立てることが必要。

No. 17

♠ Q5
♥ AQJ9
♦ KQ4
♣ A1086

♠ AJ10874
♥ 753
♦ 6
♣ K95

	N	
W	X	E
	S	

♠ 632
♥ 82
♦ AJ98
♣ Q743

♠ K9
♥ K1084
♦ 107532
♣ J2

N E S W
1♣ P 1♥ 1♠
3♥ P P end
(4♥)

N E S W
1♣ P 1♥ 1♠
3♥ 3♠ P P
4♥ P P P(4♠)
end

Nは18hcpのハンドで1♣でOPするのが普通。 若し、1NTでOPLした場合はSがパスしてそのまま決まりそうである。 1♣に対してはSが1♥でレスポンスし、Wが1♠のOCをするかしないに拘わらず、Nはリビッドで3♥にレイズするか、直ぐ4♥をビッドするかは微妙な判断になる。 3♠にはSはパスが普通と考える。Eが3♠まで競った場合、Nは4♥をビッドすることになる。また、WはNonVULで6枚♠なので4♠まで競る可能性もある。
4♥/S OL: ♦6→♦K→♦A→♦2 Eからの♦リターンをWはラフ。♠Aを勝ち、♠を出すとDeclarerが♠Kで勝ち、♥A、♥Qと集め、ダミーの♦Qを勝つが、♣で1ルーザー出るので1ダウンは仕方なし。OL: ♠A 続いて♠Lowを出した時は、Declarerは♠Kで勝つ。♥を集め♦Aを追い出しに行くが、♦で2ルーザーと♣の1ルーザーが避けられず1ダウンになるのが普通。
4♠/W OL: ♦K(♥Aは出し難く、♣Aもあり得る)。Declarerで考えると、ルーザーは♥2♠1~2、♣2有るが、♠は1個で済むので1~2ダウンになる。

No. 18

♠ Q2
♥ 7653
♦ K4
♣ AK874

♠ AKJ105
♥ —
♦ 10862
♣ 10963

	N	
W		E
	S	

♠ 98763
♥ J984
♦ QJ
♣ 52

♠ 4
♥ AKQ102
♦ A9753
♣ QJ

N E S W
P 1♥ P
2♣ P 2♦ P
4♥(3♥) P 4NT P
5♣ P 6♥ end

N E S W
P 1♥ P
3♥ P 3♠ P
4♣ P 4♥ end
(4NT P
5♣ P 6♥ end)

Sの1♥に対するNのレスポンスはペアーにより2♣(Game Forcing or 10hcp up)と3♥(Invitation)の両方が考えられる。 いずれにしても4♥で終わるか、スラムトライするかはSの判断による。なお、2♣の後、Sの2♦に対してNで3♥と4♥ドチラかをビッドするかに関してもペアーの考え方による(3♥が強く4♥がMinimumか、その逆もある)。なお、Sの1♥にWが1♠のOCをした場合はどうなりますか?
6♥/S OL: ♠K 続いて♠A Declarerはハンドでラフ。♥3-1でも♥を集めて♦2♣5個勝てれば6メイクは固いと考えて、♥Aを出すとWがショウアウトする。♥はフィネスをすれば4個とも勝てるが、♣を勝つためのエントリーがない(♣3-3の分れに賭けるのは無理がある)。如何にすべきか? ♥を2巡集め、♥J9を残したまま♣Q♣Jを勝ち、♦Aも勝って、♦を出してでダミーの♦Kに渡し、♣AKを出せば、Eが何処でラフしても、Declarerはオーバーラフして♥を刈りきる。ハンドから♦を出してダミーでラフして、残りの♣を勝てば6メイクは固い。このプレーはEの♣が2枚以上あれば成功する(♣が5-1の分れでは♣の5枚目が勝てない)。尚、♣を走る前に♦A♦Kを勝つことも重要である。先に♣A♣Kを勝つとEに♦をディスカードされ、♦Aが取れなくなる! プレーの組立が重要。

No. 19

♠ 876
♥ K986
♦ A74
♣ 942

♠ 93
♥ AQ1074
♦ 865
♣ KQ5

N	♥ J52
W	—
E	♦ KJ2
S	♣ A873

♠ KQ542
♥ 3
♦ Q1093
♣ J106

N E S W
P 1♣ P 2♥
P 3♥ P 4♥
end (P)

Wのハンドは良いハンドであるが1st、2ndハンドでは普通オープンしない。4thハンドのEが1♣でOPして、Wは2♥のジャンプレスポンスして♥5枚以上でOPハンドに近い強さをしていることを示す(1♥ではEが♥3枚で13~14hcpの時パスする)。Eの3♥レイズにWで4♥をビッドするか、パスするかは微妙な判断になるが、絵札が♥と♣に集中しているので4♥にレイズしたい。4♥/W OL: ♠8→♠10→♠Q→♠3 DeclarerはSからのリードを歓迎するのでOLには♠10を出し、Sに勝たせる。Sは♠♦は出せないで、損の少ない♥3を出し(♣Jも考えられる)、Nの♥Kが勝ち♠7を出す。Declarerで考えた時、ルーザーを♠1♥1♦1に抑えれば4メイク可能だが、かなり厳しい状況である。♠Aで勝って、♥を集めると4-1の分れであるが、刈りきる。♦を1ルーザーに抑えるには①♦AQが共にNIにあるか(確率約25%)、②♦AがNにあり、♣が3-3の分れの時である(確率は約31.5×0.5=16%)かである。①を狙う場合は♣をエントリーにハンドから♦を2回出す。この場合最初Nから♦Aが出ない時はダミーから♦Jを出す♦Aと♦Qのダブルフィネスをする。②を狙う場合は♣を勝つ前にハンドから♦を出してダミーから♦Kを出すスチールを行ってから、♣の3-3の分れを狙う(先に♣を勝つとハンドから♦を出すエントリーが問題となる)。このハンドは確率の高い①を狙うと成功せず、確率の低い②を狙うと成功して4メイクになるという皮肉な結果になる。ただ、意図してプレーすることが重要で、勝負は時の運!

No. 20

♠ K75
♥ K7
♦ A4
♣ AKJ986

♠ AQJ
♥ AQ92
♦ J953
♣ 107

N	♥ J10865
W	+
E	♦ 106
S	♣ Q543

♠ 109843
♥ 43
♦ KQ872
♣ 2

N E S W
X P 1♠ P
2♣ P 2♠ end
(P)

N E S W
X P 1♠ P
2♣ P P X
P 2♥ P P
3♣ end

Wが1♦でOPすると、Nは2♣のOCもあり得るが強い6枚♣と18hcpある強いハンドであるのでテイクアウト・ダブルを掛けるのが一般的。Sは1♠でテイクアウトするが、Nは2♣をビッドして♣5枚以上と16hcp以上を示す。これに対してSが2♣をビッドするかパスするかは微妙な問題となる。また、Sがパスした場合、Wでダブル(ネガティブダブル的)掛けることも考えられ、この場合Eは2♥をビッドするのでNは3♣をビッドすることになると推定される。3♣/N OL: ♦10 Declarerで考えて、♣5♦3と♥Kか♠Kのどちらかが勝てれば3メイク可能と考え♦Aで勝ち、♣AKを勝ち(♣Q10が残って2ルーザーになる可能性もあるが...)、♣を負に行く。Eから♦が出た時は、♦Kで勝つが、1ダウンになる可能性が高い(♠2♥1♠2のルーザー)。2♠/S OL: ♣10 ダミーの♣Aで勝ち、♠5を引き、ハンドから♠8を出して負ける。Wから♣が出されれば、ダミーの♣Kで勝ち、♦A♦Kを勝ち、ハンドから♠3を出す。Wが♠Aで勝ち、何を出して来ても、♥Aと♦Jに負けて3メイクは固い。2~3♥/E OL: ♣2 Nは♠K、♣Aと勝ち(Sは♦8を捨てる)、♦A♦4を出しSの♦Qが勝つ。この後、Defenseで♥K♠Kが勝てるので1~2ダウン(1メイク)。BothVulのパートスコアの競り合いは要注意(2ダウンは致命的)。

No. 21

♠ AJ652
♥ K3
♦ A64
♣ 1054

♠ 4
♥ Q10
♦ KQ98
♣ AJ9832

N	♥ A962
W	
E	♦ J10752
S	♣ Q6

♠ K10973
♥ J8754
♦ 3
♣ K7

N E S W
1♠ P 4♠ end

N E S W
1♠ P 2♠ P
end

N E S W
1♠ P 2♠ 2NT
3♠ 4♦ 4♠ P
P P(5♦) end

Nの1♠のOPに対するSのレスポンスは2♠、4♠どちらかになりそうである。3♠(Invitation)は余り薦められない。2♠のレスポンスには、WでUn-usual 2NTのOCが掛かるかも知れない(Minor 6-4だが)。この場合Nが3♣をビッドしても、Non VulのEは4♦をビッドし、4♠にもサクリフェイス気味に5♦をビッドする可能性がある。4♠/N OL: ♦J Declarerはハンドの♦Aで勝つ。♦4を出してダミーでラフした後、♠A♠Kで♠を2巡集める。♥Kか♠Kが勝てれば4メイクになるので、♥4を出しハンドから♥Kを出すEの♥Aが勝つ。このハンドではDefenseが間違わない限り♠Kも勝てずに1ダウンになる。EのOLが♥Aの場合4メイク。5♦/E OL: ♠K Sはリードに困る! ♠3を出す。Declarerはダミーでラフ。Declarerから考えて、♦Aに負けた後、♦を集めてから♠Kのフィネスが成功すれば、5メイクの可能性があるので、プレーを組み立てる。このハンドは5メイクする。5♦をビッドされたオポネントは災難である。

以上